

2 世界キャラクターさみっと

「わあー、キャラクターがいっぱいいる。」
ぼくは、お母さんといっしょに、水ごう公園でやって
いた世界キャラクターさみっとに行きました。

会場には、全国のキャラクターがたくさんいました。

「あ、あそこにムジナもんがいるわよ。」

と、お母さんが教えてくれました。ムジナものとなり
には、いがまんちゃん、フナどん、しらさぎふん、
イナゴージャス、ザリガニはかせ、いたっちもいました。

「羽生市のキャラクターは、たくさんいるなあ。」

ぼくは、なんとなくうれしい気もちになりました。

（でも、どうして、羽生市にはこんなにキャラクターがいるんだろう…。）
ぼくは思いました。

お母さんに、聞いてみると、

「キャラクターは、その町のいいところをみんなに知らせるために、
いるのよ。」

と教えてくれました。

（そうなんだ、じゃあ、羽生市には、キャラクターがいっぱいいるから、いいところがい



っばいあるのかな。)

お母さんは、

「ムジナもんは、『ムジナモ』という羽生にしかないみずくさから生まれたキャラクターなの。小さな小さな虫を食べるめずらしいみずくさで、てんねんきねんぶつにもなっているのよ。」

「『いがまんじゅう』は食べたことがあるわよね。いがまんちゃんは、『いがまんじゅう』から作られたキャラクターよ。おかしから羽生やまわりの町だけで食べられているのよ。」
そのほかにも、お母さんは、

「フナどんは、魚の『フナ』」

「しらすぎふ人は『しらすぎ』という鳥」

「イナゴージャスは『イナゴ』という虫」

「ザリガニはかせは、『ザリガニ』」

「いたっちは、『イタチ』というどうぶつ」

「どれも、しぜんがゆたかじゃないと生きていけない生きものばかりなのよ。」
と、教えてくれました。

その話を聞いて、ぼくは、生活科の時間に行った生きものさがしのことを思い出しました。

「ザリガニがっばいいるね。」



と、クラスのみならず、用水ろの生きものもさがすと、ほかにも、メダカやたにし、ドジョウ、フナやこい、かめも見つけました。

ぼくは、あの時たくさんの生きものを見つけたのは、羽生市には、しぜんがいっぱいあるからなんだと気づきました。
「羽生市に生まれてよかったなあ。」
ぼくは、お母さんと顔を見合せて、にこっとほほえみました。

ムジナもんとなかまたち



ムジナもん

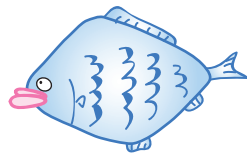


しらすぎん人

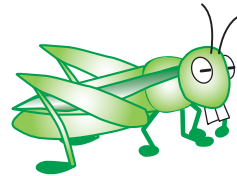
ザリガニはかせ



いたっち



フナどん



イナゴージャス



いがまんちゃん